



冬の自然観察会

ふと〜い! おっきい!

自然の豊かさ実感! 和琴半島

少し風はあったものの天候に恵まれた3月2日(土)、和琴半島(弟子屈町)で23名(含む常呂川FC1名)の参加で冬の自然観察会を行いました。



和琴半島には周回約2.4kmの遊歩道がありますが、一部に急傾斜地(階段)があり凍ったら危ないことからその部分を避け、スノーシューのメリット(雪の上を歩ける)を活かして、途中から半島を横切るルートでの散策です。

4班に分かれて駐車場をスタート、巨大なカツラの株立ちや直径1m以上のハリギリやミズナラ、径10cm以上のヤマブドウやサルナシ(コクワ)の太さには驚き、手つかずの自然を感じます。



国立公園ということで保護されてきた結果、原生林的な森林が残されたものだと思います。

およそ1時間30分で半島先端のオヤコツ地獄に到着、屈斜路湖・藻琴山を眺めながらの昼食タイムです。

帰路には和琴半島入口で白鳥も見学、道東の豊かな自然を実感した一日でした。

【参加者多数のため氏名省略】

<近藤>

冬の自然観察会

広葉樹の多様性を感じる

この日は絶好の晴天で、休憩時に美幌峠から眺めた屈斜路湖面は中の島が神秘的な美しさを漂わせ、我々の訪問を大歓迎してくれた。

開会式で受けた諸注意を心に刻み、スノーシューを履き、ストックの長さを調節していよいよ森林散策開始である。

春先から真夏の歩行では葉の緑の勢いを感じるが、この時期の通路はまだ雪で覆われて自由歩行は難しく、カツラやダケカンバ、ミズナラ等の広葉樹では葉がなくこの上なく空疎である。

その結果、広葉樹の枝ぶり等が明らかとなり、エゾマツやトドマツ等の針葉樹に比べて、幹、枝、冬芽の形態、形状が随分と多様であることがわかる。



広葉樹は針葉樹より後発で、自然環境への対応・適用性が高いことが実感できる良い機会であった。

当観察会の世話人の方々に感謝する次第です。

＜鈴木 勉＞

なるほどクイズ

(答えは会報のどこかに…)

春です。多くの花が咲き乱れる季節です。というわけで、春に見られる花の名前、漢字で書けますか？



- ①フクジュソウ ②エゾエンゴサク ③カタクリ ④ミズバショウ
- ⑤ニリンソウ ⑥ヒメイチゲ ⑦バイケイソウ ⑧スミレ
- ⑨ナニワズ ⑩エンレイソウ

木が曲がるのにも理由がある

このたび、森林ボランティア「オホーツクの会」に嬉しいご縁で入会し、初のスノーシューに参加させていただきました。

普段、森林や木など触れることのない日常の中、道なき道をスノーシューで歩き、ガイドさんのキツツキの種類で木突き方（穴）の違いや木の大きさや木の芽などの話も聞かせてもらい、正直木がどうして曲がって成長しているのか？など気にしていなかったのをこれを機に公園などの木を観察してしまう自分がいると思います。



クマゲラ食痕



お天気も良く強風は森林の中では気にならず、森林の中で食べるお昼ご飯は特別おいしかったです。（コンビニおにぎりでしたが…）

森林の中や雪の上を歩くことはここ数年ぶりでしたので、やはり外遊びは楽しいですね。

一人での参加でしたが、バス内や一緒に歩いてくれた方々の気遣いに感謝です。

とても清々しい心地良い時間を過ごすことができ、ありがとうございました。

＜菅原幸江＞（新規入会）

自然に学び隊

1 m超えの

太い木がいっぱい！

2月19日（月）、19名（含む常呂川FC1名）の参加により、冬の自然観察会（和琴半島）の下見を兼ねて自然に学び隊活動を行いました。

2月中旬なのに10度（プラス）を超える暖かさ、加えて少雪＋暖冬でスノーシューで歩けるか？が一番の懸念材料です。

予想通り、遊歩道は融雪に加えて歩行跡が固まり、スノーシューなしでも歩ける状態です。



ただし、参加者の安全確保のためのルート（山越え）は、しっかり雪がありスノーシューなしの散策は無理なようです。

（その後、散策会までの間に適度な積雪があり「雪がない❄️」という懸念は払しょくされました）

和琴半島はほとんど手つかずの天然林のようで、直径1mを超えるようなカツラ、ミズナラ、ハリギリ、シナノキなどがたくさんあり、特に巨木好きの植村さんは目を輝かせていました。



試行（山越え）ルートは、見どころもありましたが、下りルートは倒木が多く、急傾斜ということで参加者は四苦八苦、本番当日はルート変更することを確認しました。

時折、メジャー（直径巻尺）で太い木の径を測りながら、ミズナラのテング巣病、ウサギの耳みたいなオオカメノキの冬芽、クマゲラの食痕、カツラの株立ち（ひこばえ）など、ガイドポイントを確認しながら和琴半島の下見を終えました。

<吉田>

研修会 & 第17回総会

3月16日（土）、北網圏北見文化センターで会員20名の参加により、研修会および第17回総会を行いました。

研修会

とりのはなし

鳴き声で探そう！



研修会は、日本野鳥の会オホーツク支部城石事務局長から「とりのはなし」をテーマに講演を受けました。

これは、野山を歩いているとき見つけた鳥や鳴き声で種類が分かると森林での楽しみが増えること、鳥を知ることから森林の理解が深まることから企画したものです。



講演では、

鳥の判別には身近な鳥、スズメ、ヒヨドリ、ハト、カラスをものさし鳥として大きさの基準としていること。

同じ鳥でも、鳴き声は、さえずり・地鳴きで異なり、近年人気のシマエナガは鳴き声に特徴があるので鳴き声をたよりに探すと良いこと。

などなど、身近な野鳥を写真（パワーポイント）と鳴き声（スマートフォン）を紹介しながら特徴などを説明していただきました。

また、日本には676種の野鳥が確認されているが、そのうちオホーツクで373種が確認されている。

世界遺産知床、阿寒摩周国立公園、大雪国立公園、網走国定公園と豊かな自然に囲まれ、山～湖沼～海という変化に富んだ環境があるから多くの野鳥の生息できる。

などが話されました。

実物を見ながら話を聞くともっとわかりやすいかな、でも、鳥にとりつくきっかけになったのでは・・・と思った研修会でした。

第17回総会

1000 円

散策会 参加費負担を！

第17回総会は、主催者：会長、来賓：常呂川FC所長のあいさつを受けた後、議案提案、質疑が行われました。

主な議論は次のとおりです。

Q 予算で事業収入増の理由は何か？また、活動計画で散策会3回としているが、支出では散策会（バス借り上げ）2回となっているのはなぜか？

A 次年度予算については、コープさっぽろの助成金がなく、バス代金が大幅に値上がりしていることから、今年度と同様の予算組は困難であり、

①バスを利用する散策会については参加者の負担増（200円→1000円）

②散策会3回のうち1回を北見市近郊で行う（バス使用しない）

ことで予算編成しており理解をお願いしたい。

Q 散策会はバスだけでなくJRの利用拡大の意味も含めてJR利用できないか？

A 散策会のフィールド、JRの運行時間などを考慮して適地があれば検討したい。

また、5月22～27日、NHKぎやらりーで行われる第3回「わたしが見つけた自然」4コマ写真展に向けて4月中をめどに作品募集するので協力願いたいなどの発言がありました。

【なるほどクイズ】 答え



読めるんだけど書けない、パソコンの普及で書くことが減ったもんね～、そんな声が聞こえてきそうです。

- ①福寿草（フクジュソウ） ②蝦夷延胡索（エゾエンゴサク） ③片栗（カタクリ） ④水芭蕉（ミズバショウ） ⑤二輪草（ニリンソウ）
⑥姫一華（ヒメイチゲ） ⑦梅蕙草（バイケイソウ） ⑧堇（スミレ）
⑨難破津（ナニワズ） ⑩延齡草（エンレイソウ）

★そんな漢字知らん！と怒らないでね～



天候等によっては、中止・内容変更になる場合があります。

申込みは、できるだけ**メール**でお願いします。

h_tokoro_f@maff.go.jp (常呂川 FCアドレス)

または koei1714@gmail.com

**<イベント名、氏名(カナ)、住所、
郵便番号、生年月日、連絡先> (様式は任意)**

○第1回森いく活動

日 時 2024年 5月14日(火) 9:30~
場 所 森の家集合
内 容 森の家周辺の環境整備他
持ち物 作業・森林散策できる服装、飲み物、マスク等、(昼食なし)
申込み 受付開始 4月25日(木)~5月7日(火)まで

森いく活動は、5~10月の第2火曜日および必要に応じて実施します。

○第3回「私が見つけた自然」4コマ写真展

日 時 2024年 5月22~27日
展示作業 21日14:00~
撤去作業 27日14:00~
場 所 NHK ぎやらり~

**お友だちを誘ってお立
ち寄りください。**

○第2回森いく活動

日 時 2024年 6月11日(火) 9:30~
場 所 森の家集合
内 容 森の家周辺の環境整備、「ふれあいの森」活動他
持ち物 作業・森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等
申込み 受付開始 5月22日(水)~6月4日(火)まで
★午後から、夏の散策会下見(自然に学び隊)を行います。

○オホーツクの森林づくり(共催:常呂川FC)

日 時 2024年 6月16日(日) 9:30~
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9:00(受付8:30~)
場 所 オホーツクの森
内 容 森林づくり(カミネッコン植樹箇所の保育活動)を通じて自然を
感じる
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物、マスク等
参加費 200円(保険料等)
申込み 受付開始 5月15日(水)~5月29日(水)
定員(20名予定)を上回った場合は抽選

○夏の森林散策会

日 時 2024年 6月23日(日)
集合場所 常呂川森林ふれあい推進センター 9:00
森の家 9:30
★申し込み時に集合場所も報告願います
場 所 オホーツクの森(「古の森」他)
内 容 森林散策・自然観察を通じて、森林の果たす役割を学び、森林の
魅力を感じましょう。なお、今回はバスを使用せず、自家用車へ
の分乗となります。
持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等
参加費 200円(保険料等)、一般参加者は500円
申込み 受付開始 5月29日(水)～6月13日(木)まで

○散策会の下見を兼ねた「自然に学び隊」活動については、第2回森いく活動に合わせて行います。

6月11日 13:00～

申込み 受付開始 5月22日(水)～6月4日(火)まで
(午後からのみの参加もOKです)

○山歩き隊活動

日 時 2024年 7月6日(土)
場 所 西別岳(標茶町 799m)
集 合 常呂川FC 7:00
持ち物 登山できる服装、昼食、飲み物、マスク等
参加費等 保険はかけません。交通費は参加人数により変動(1500円程度)
申込み 受付開始 6月19日(水)～7月2日(火)
近藤まで(koei1714@gmail.com)

○第4回森いく活動

日 時 2024年 7月16日(火) 9:30～
場 所 森の家集合
内 容 森の家周辺の環境整備、「ふれあいの森」活動他
持ち物 作業・森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等
申込み 受付開始 6月26日(水)～7月9日(火)まで

7月以降の森いく活動については、諸事情により第3火曜日に変更します。

人事異動（常呂川森林ふれあい推進センター）

4月1日付で、常呂川森林ふれあい推進センターの人事異動がありました。

所 長

荒谷 和弘 退職（定年前）

新堀 英彦 根釧西部森林管理署より

行政専門員

佐々木英樹 網走南部森林管理署より

荒谷所長については、深川市に住居を構え、新たな人生を歩まれるそうです。身体に留意され、ますますの活躍を祈念します。
一年間の短期間でしたが、お世話になりました。

4月1日付で常呂川森林ふれあい推進センター勤務を命じられました新堀英彦です。「オホーツクの会」の皆様には、日頃より当センターの業務運営に対しましてご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

オホーツク管内は3年ぶりの勤務となりますが、自然再生等のふれあい業務は初めてで、皆様には何分ご迷惑をおかけすることもあると思いますがご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



新堀センター所長

よろしくお願いします



佐々木行政専門員

この度、常呂川森林ふれあい推進センターに配置となりました佐々木です。

定年退職を迎え、再びふれセンへ行政専門員として勤務することになりました。

顔なじみの方のほか、新しい方もいらっしゃるのでお会いすることを楽しみにしております。

今後ともよろしくお願いいたします。

木々に関するつぶやき

【虫媒花&風媒花】

おしべの花粉をどうやってめしべに運ぶか？は植物の生存にかかわる重要な問題です。

虫媒花は色・香り・形を工夫し、蜜を生産して虫や鳥を呼び込み確実な受粉をめざします。

風媒花は、風任せでも受粉できるよう群生し、花粉を大量生産することで確率アップを図ります。

植物の生きる知恵はすばらしい。

会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。（退会される方は事務局へ一報願います）



— 納入方法 —

- ・会が主催・参加するイベント時に納入（会報等でご確認ください）
- ・会の口座（ゆうちょ銀行）に振り込む（手数料がかかります）

ゆうちょ銀行（郵便局）から振り込む場合

【記号 19960 番号 08073231】

他の金融機関から振り込む場合

【店名 九九八 店番 998 普通預金 口座番号 0807323】

森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3
TEL 0157-23-2960 メール h_tokoro_f@maff.go.jp

入退会、会費納入等の問い合わせは koei1714@gmail.com へ